

No.52 フェリーチェ・ヴァリーニ 「背中合わせの円」

Felice Varini

北川フラムさんのコラム / 1998 (平成10) 年 12月15日付 立川市市報記事より

切られた線、ギザギザの線、太さの違う曲線。ペDESTリアンデッキの支柱や階段にかかれた黒いペンキが、ある一カ所から見ると真円に見えるという奇想天外の楽しみをスイスのアーティスト、フェリーチェ・ヴァリーニがやってくれた。

これは街や建物の遠近法をうまく使ったもので、コロンブスの卵のような発見だと思う。といってもこの場の選び方にアーティストの視覚と才能が動員されているわけで、見事というしかない。

同じファーレの屋上のペントハウスにも赤い円しっぽが設えてあるがこれも人を驚かしながらも街のサインになっている。

2002年のワールドカップで札幌ドームの内部にヴァリーニの大円が登場するという。乞うご期待である。